

2026年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
3823005	学校教育概論 Theory of school education	河合 龍二			2	選択	1前期
科目の概要							
学校教育概論は、学校司書を目指す学生にとって必須の科目である。学校職員の一員として活躍するためには、学校教育についての基礎基本を理解しておく必要がある。幼児・児童及び生徒の発達段階にふさわしい教育をしようと歴史が刻まれてきた。それを踏まえて、教育の今日的課題を考える視座を身に付ける。(ディプロマ・ポリシー②③④⑥)							
学修内容				到達目標			
① 心身の発達及び学習の過程(発達障害を含む)について理解する。 ② 教育の理念及び教育に関する思想と歴史について理解する。 ③ 教育課程の意義及び編成の方法について理解する。 ④ 学校教育に関する現代的諸課題について考察する。				① 心身の発達及び学習の過程(発達障害を含む)について説明することができる。(ディプロマ・ポリシー②③④) ② 教育の理念及び教育に関する思想と歴史について説明することができる。(ディプロマ・ポリシー②③④) ③ 教育課程の意義及び編成の方法について説明することができる。(ディプロマ・ポリシー②③④) ④ 学校教育に関する現代的諸課題について実践で役立つものの見方・考え方を身に付け発表することができる。(ディプロマ・ポリシー⑥)			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例					
前に踏み出す力	主体性	学校教育に関する諸課題について、自らの体験を踏まえつつさまざまな事例を調査することができる。					
	働きかけ力						
	実行力	学校司書の職に就くという目標に向かって、友人と切磋琢磨し、研究と修養を積むことができる。					
考え抜く力	課題発見力	さまざまな情報を収集し比較分析することで、学校教育に関する諸課題について客観的に見極めることができる。					
	計画力						
	創造力	今後の学校教育において、その一員として機能するための必要条件を自ら考え、友人との対話で深めることができる。					
チームで働く力	発信力	各種事例の分析結果を、相手に伝わるように文章や発表で表現することができる。					
	傾聴力	他者の意見について内容の確認や質問をすることで、正確に理解することができる。					
	柔軟性						
	状況把握力						
	規律性	遅刻、無断欠席をせず、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる。					
	ストレスコントロール力						
テキスト及び参考文献							
テキスト：「学校司書のための学校教育概論」2019年 野口武悟・鎌田和宏 編著 樹村房 2,200円(税込) 参考文献：講義中に随時紹介する。							
他科目との関連、資格との関連							
他科目との関連：図書館に関する科目 資格との関連：学校司書							
学修上の助言				受講生とのルール			
テキストに即して基礎知識を獲得することに加え、今後の学校教育の在り方を考える姿勢をもちたい。切実な課題もある。目をそらすことなく、自分に何ができるかという当事者意識をもって臨んでほしい。				授業時間内の集中力が大切である。友人と積極的に協働して毎回のテーマについて考えを深め、成果をあげよう。グループワークでは「お手紙まわし」「ボキャブラリーシート」等さまざまなしなかけを試すので、積極的に取り組もう。配付プリントや振り返りシートは、ポートフォリオとして、各自保管しておくこと。			

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	50	①	✓	・学校教育に関する今日的課題を理解し、解決に向けて自身の意見をもつことが出来ているかを測る。期末試験に関する得点率の目安は以下のとおり S（秀） 9割以上 A（優） 8割以上 B（良） 7割以上 C（可） 6割以上	
				②	✓		
				③	✓		
				④	✓		
	平常評価	小テスト		20	①	✓	学校教育の基礎知識について適宜小テストを実施し、その定着度を測る。 得点をそのまま評価点とする。 欠席等不受験者に対しては、課題の指示をする。
					②	✓	
					③	✓	
					④		
		レポート		10	①	✓	振り返りシートに、何を学び今の自分に何が足りないかを記述する。それを蓄積し、常に学修の調整をしている。
					②	✓	
③					✓		
④					✓		
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）			10	①		学校教育の仕組みに関する現状と課題について理解できている。それを踏まえて「学校教育における学校司書の役割と可能性」をテーマに意見発表ができる。また、発表を傾聴しつつ課題を発見し、対話で考えを深め、解決することができる。この活動でpisa型学力が身に付いている。	
				②			
	③						
	④			✓			
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓	（主体性） 毎回の内容に加え、他の図書館に関する科目での学修内容と重ね合わせて考察を深めることができる。 （実行力） 自分の意見を磨くため、グループワークに積極的に参加できる。 （課題発見力） 広く見聞し、学校教育の課題を発見できる。 （創造力） 今後の学校教育の在り方について、独自の視点で考察できる。 （発信力） 自らの意見を、相手に伝える工夫をして記述したり発表したりできる。 （傾聴力） 他の意見を真摯に受け止めるアクティブ・リスニングができる。 （規律性） 遅刻・無断欠席など学修意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。		
			②	✓			
			③	✓			
			④	✓			
総合評価割合			100				

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
毎回の予習及び振り返りシートの提出、学期末の成果発表を前提として、以下のとおりとする。 A（優） ・学校教育の基礎知識を測る小テスト及び期末試験で8割以上。 ・学校教育に関する今日的課題に対して理解し、解決に向けて自分がやれることを自覚できる。 ・組織の一員として児童生徒の教育に関わる意欲と覚悟をもつことができる。 S（秀） ・上記A基準を上回る内容であればSとする。	B（良） ・学校教育の基礎知識を測る小テスト及び期末試験で7割以上。 ・学校教育に関する今日的課題に対して理解し、自分がやれることを考えることができる。 ・組織の一員として子供の教育に関わる意欲をもつことができる。 C（可） ・学校教育の基礎知識を測る小テスト及び期末試験で6割以上。 ・学校教育に関する今日的課題に対して理解できる。 ・組織の一員として児童生徒の教育に関わる必要性を自覚できる。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	オリエンテーション 授業概要、授業のルール、評価方法を理解する。 学校教育を受けてきた自身を振り返る。	・講義 ・演習及びグループワーク 思考ツールを用いて、思考の整理をする。PCを使って調べ学習をする。調べた語句は「オリジナル辞書」としてPCフォルダに蓄積していく。(以下同じ)	・学校教育の課題について、自身の経験に照らしてワークシートに記述できる。	(復習) 振り返りシートにより、何が分かるようになったか、できるようになったかを確認し、今後身に付けたい力について記述する。	180	主体性 課題発見力 傾聴力 規律性
2	子どもの発達と学習のプロセス① テキストP2～19 「発達の理論とプロセス」をテーマに、対話によって理解を深める。	・講義 ・演習及びグループワーク 思考ツールを用いて各自の考えをまとめ、グループ内で共有し、ものの見方・考え方を深める。	・学習内容について、おおむね正しくワークシートに記述できる。	(予習) テキストを熟読しておく。 (復習) 振り返りシートにより、何が分かるようになったか、できるようになったかを確認し、今後身に付けたい力について記述する。	180	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 規律性
3	子どもの発達と学習のプロセス② テキストP20～30 「発達障害の理解と支援」をテーマに、対話によって理解を深める。	・講義 ・演習及びグループワーク 思考ツールを用いて各自の考えをまとめ、グループ内で共有し、ものの見方・考え方を深める。	・学習内容について、おおむね正しくワークシートに記述できる。	(予習) テキストを熟読しておく。 (復習) 振り返りシートにより、何が分かるようになったか、できるようになったかを確認し、今後身に付けたい力について記述する。	180	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 規律性
4	子どもの発達と学習プロセス③ テキストP31～47 「学習の理論と学習指導」をテーマに、対話によって理解を深める。	・講義 ・演習及びグループワーク 思考ツールを用いて各自の考えをまとめ、グループ内で共有し、ものの見方・考え方を深める。	・学習内容について、おおむね正しくワークシートに記述できる。	(予習) テキストを熟読しておく。 (復習) 振り返りシートにより、何が分かるようになったか、できるようになったかを確認し、今後身に付けたい力について記述する。	180	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 規律性
5	子どもの発達と学習のプロセス④ テキストP48～59 「教育の測定と評価」をテーマに、対話によって理解を深める。	・講義 ・演習及びグループワーク 思考ツールを用いて各自の考えをまとめ、グループ内で共有し、ものの見方・考え方を深める。	・学習内容について、おおむね正しくワークシートに記述できる。	(予習) テキストを熟読しておく。 (復習) 振り返りシートにより、何が分かるようになったか、できるようになったかを確認し、今後身に付けたい力について記述する。	180	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 規律性
6	学校教育の理念、思想と歴史① テキストP62～73 「教育の本質と目的」をテーマに、対話によって理解を深める。	・小テスト(2～5週「子どもの発達と学習のプロセス」の内容) ・講義 ・演習及びグループワーク 思考ツールを用いて各自の考えをまとめ、グループ内で共有し、ものの見方・考え方を深める。	・学習内容について、おおむね正しくワークシートに記述できる。	(予習) 小テスト(2～5週「子どもの発達と学習のプロセス」)対策をしておく。 (復習) 振り返りシートにより、何が分かるようになったか、できるようになったかを確認し、今後身に付けたい力について記述する。	180	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 規律性
7	学校教育の理念、思想と歴史② テキストP74～82 「学校教育の思想と歴史：西洋」をテーマに、対話によって理解を深める。	・講義 ・演習及びグループワーク 思考ツールを用いて各自の考えをまとめ、グループ内で共有し、ものの見方・考え方を深める。	・学習内容について、おおむね正しくワークシートに記述できる。	(予習) テキストを熟読しておく。 (復習) 振り返りシートにより、何が分かるようになったか、できるようになったかを確認し、今後身に付けたい力について記述する。	180	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 規律性
8	学校教育の理念、思想と歴史③ テキストP83～98 「学校教育の思想と歴史：日本」をテーマに、対話によって理解を深める。	・講義 ・演習及びグループワーク 思考ツールを用いて各自の考えをまとめ、グループ内で共有し、ものの見方・考え方を深める。	・学習内容について、おおむね正しくワークシートに記述できる。	(予習) テキストを熟読しておく。 (復習) 振り返りシートにより、何が分かるようになったか、できるようになったかを確認し、今後身に付けたい力について記述する。	180	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	教育課程の意義と編成① テキストP100～107 「教育課程の意義と構造」をテーマに、対話によって理解を深める。	・小テスト(6～8週「学校教育の理念、思想と歴史」の内容) ・講義 ・演習及びグループワーク 思考ツールを用いて各自の考えをまとめ、グループ内で共有し、ものの見方・考え方を深める。	・学習内容について、おおむね正しくワークシートに記述できる。	(予習)小テスト(6～8週「学校教育の理念、思想と歴史」の内容)対策をしてくる。 (復習)振り返りシートにより、何が分かるようになったか、できるようになったかを確認し、今後身に付けたい力について記述する。	180	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 規律性
10	教育課程の意義と編成② テキストP108～118 「学習指導要領と教育課程編成の実際」をテーマに、対話によって理解を深める。	・講義 ・演習及びグループワーク 思考ツールを用いて各自の考えをまとめ、グループ内で共有し、ものの見方・考え方を深める。	・学習内容について、おおむね正しくワークシートに記述できる。	(予習)テキストを熟読しておく。 (復習)振り返りシートにより、何が分かるようになったか、できるようになったかを確認し、今後身に付けたい力について記述する。	180	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 規律性
11	教育課程の意義と編成③ テキストP119～138 「教育課程と学校図書館」をテーマに、対話によって理解を深める。	・講義 ・演習及びグループワーク 思考ツールを用いて各自の考えをまとめ、グループ内で共有し、ものの見方・考え方を深める。	・学習内容について、おおむね正しくワークシートに記述できる。	(予習)テキストを熟読しておく。 (復習)振り返りシートにより、何が分かるようになったか、できるようになったかを確認し、今後身に付けたい力について記述する。	180	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 規律性
12	学校教育の仕組み、現状と課題① テキストP139～152 「教育法令、制度、行政と学校」をテーマに、対話によって理解を深める。	・小テスト(9～11週「教育課程の意義と編成」の内容) ・講義 ・演習及びグループワーク 思考ツールを用いて各自の考えをまとめ、グループ内で共有し、ものの見方・考え方を深める。	・学習内容について、おおむね正しくワークシートに記述できる。	(予習)小テスト(9～11週「教育課程の意義と編成」の内容)対策をしてくる。 (復習)振り返りシートにより、何が分かるようになったか、できるようになったかを確認し、今後身に付けたい力について記述する。	180	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 規律性
13	学校教育の仕組み、現状と課題② テキストP153～173 「教職員のサービスと校務分掌」「学校教育の課題と展望」をテーマに、対話によって理解を深める。	・講義 ・演習及びグループワーク 思考が停滞したら、NotebookLMを用いて活性化する。	・学習内容について、おおむね正しくワークシートに記述できる。	(予習)テキストを熟読しておく。 (復習)振り返りシートにより、何が分かるようになったか、できるようになったかを確認し、今後身に付けたい力について記述する。	180	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 規律性
14	発表の前半 「学校教育における学校司書の役割と可能性」をテーマに、学校司書として児童生徒の教育に参画する実務の可能性を提案する。	・PCを用いてプレゼンテーションを実施する。全員に伝わるように言葉を選び、音声表現の工夫をする。	・ルーブリックに照らし、自己評価も相互評価も「おおむね満足」となる。	(予習)PCでプレゼンテーション資料を作成しておく。 (復習)振り返りシートにより、自己評価をし、他者からの評価を受けて改善すべき点について記述する。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
15	発表の後半 「学校教育における学校司書の役割と可能性」をテーマに、学校司書として児童生徒の教育に参画する実務の可能性を提案する。	・PCを用いてプレゼンテーションを実施する。全員に伝わるように言葉を選び、音声表現の工夫をする。	・ルーブリックに照らし、自己評価も相互評価も「おおむね満足」となる。	(予習)PCでプレゼンテーション資料を作成しておく。 (復習)振り返りシートにより、自己評価をし、他者からの評価を受けて改善すべき点について記述する。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力